



故 清水 進 特別顧問 追悼文集

公益社団法人 日本技術士会
金属部会
2026 年 6 月





清水特別顧問を偲んで

— 若手の志を守った部会長に感謝を込めて —

公益社団法人 日本技術士会 金属部会部会長 田中 和明

清水特別顧問が逝去された。

感謝と後悔の念が、今も胸に去来している。

清水さんは、金属部会の2代前の部会長として、実に13年間にわたり部会を率いられた。六年目にしてすでに息切れしている私などとは比べものにならない。会員も幹事も今ほど多くなかった時代に、毎月の定例行事を維持し、講演者を探し、議事録をこまめに残し、部会活動を着実に続けてこられた。その地道な努力には、ただ感服するばかりである。

清水さんは、実はYES-Metals!の影の生みの親でもある。

今から20年前、2006年のことである。夏の恒例行事で事務局に通っていた折、昼食を串特急でとりながら、私は清水さんにこう切り出した。

「毎月の部会活動は水曜日の夕方ですよ。若手の企業勤務者には、参加が難しいのではないのでしょうか。せめて土曜日に集まれる場があればと思うのですが」

すると清水さんは、少しも否定せずに言われた。

「部会の日程を変えることは難しい。しかし、若手が土曜日に集まるのはよいことではないか。もちろん賛成だよ。僕が責任を持つから、やりたまえ」

当時の私は幹事でもなく、委員会活動にも関わっていなかった。それにもかかわらず、清水さんは若手の提案を正面から受け止め、背中を押してくださった。翌日、私は先輩の笹口さんのお宅に押しかけ、この話を伝えた。そこから笹口さんの行動は早かった。関係各所に根回しをし、幹事会で説明し、事務局にも掛け合ってくださいました。その流れが、一年後のYES-Metals!誕生へとつながっていった。

もちろん、順風満帆ではなかった。

総務委員会からは、「受験指導をする組織を部会内につくるのはけしからん」という声も上がった。今でも時折耳にする誤解だが、YES-Metals!は単なる受験指導組織ではない。技術士を目指す若手を支え、学び合い、技術者として成長する場である。

そのとき、役員会で当時の副会長が立ち上がり、こう言われた。

「文句を言う者には言わせておけ。金属部会は、君たちの志を全力で守る」

この一言で、YES-Metals!は生まれた。

その揺れる時期を部会長として静かに見守ってくださったのが清水さんであった。現在、金属部会の活動が多少なりとも活発であると評価されるなら、その原点には、若手の志を信じて見守った清水部会長体制があった。思い返すたびに、感謝の念が尽きない。

一方で、後悔もある。

今年の正月、吉武記念講演会の席上で、清水さんから声をかけられた。

「田中くん、今年も歴史金属学のセミナーをするんだね」

「はい、例年どおり 11 月に予定しています」

「もう少し早くならないかね。たとえば 4 月くらいに」

「4 月ですか」

「去年の講義の続き、『白金』の第二部をまだ発表できていないんだよ。できるだけ早く頼むよ」

なぜ、私はその要請をすぐに形にできなかったのか。2 月にでも企画すべきではなかったのか。今さらながら悔やまれてならない。

思えば、今年の吉武記念講演会で清水さんが予定時間を超えて、技術士会への思いを語られたあの講演は、覚悟を込めた最後の講演だったのかもしれない。通常、時間超過を止めに入る幹事たちも、その迫力に、最後まで耳を傾けていた。3 月 20 日の顧問会を欠席されたことも、その時のご都合が悪いのだろうと思っていた。しかし、3 月に入ってメールも電話も通じなくなっていたことを考えると、すでに深刻な状態であったのだろう。

清水さんは、技術士の先輩であると同時に、技術者の先輩であった。技術者とはどうあるべきか。組織をどう支えるべきか。若手をどう見守るべきか。その姿を、身をもって示してくださった。

6 月の総会後、清水さんを偲ぶ会を行う。ぜひ多くの方に参加いただきたい。惜しい先輩を、また一人失った。

最後に、少し私的な感慨を添えたい。

私が敬愛し、小説にまでしてしまった英国の科学者ファラデーは、人生最後の講演で「白金について」を語った。清水さんが最後まで発表を望まれたテーマも、同じく「白金」であった。150 年の時を隔てた二人の技術者が、同じ金属に思いを託したことに、不思議な縁を感じずにはいられない。

今年 11 月の歴史金属学セミナーでは、清水特別顧問のご遺志を引き継ぐものとして、先生が締めくくろうとされた「白金の歴史」を、不肖の後輩である田中が講演させていただく。微力ではあるが、それをせめてもの金属技術士の供養としたいと思っている。

清水特別顧問のご功績に、心より敬意を表し、深く感謝申し上げます。

そして、その志を受け継ぐことを、金属部会の次の責務としたい。

合掌

清水特別顧問を偲んで

金属部会顧問 小林 経明

清水特別顧問にはたくさんのことを教えていただきました。心から感謝申し上げます。

思い出の一端を記します。

1. 金属部会長の引継ぎ（2017.4.25）

清水様が金属部会長を退任するにあたり、部会長の引継ぎのため神谷町駅地下のレストランに招待されました。開口一番、なにかを決断するときは必ず吉武進也名誉部会長に相談するのが良いと言われました。弱小の金属部会を公私ともに育ててこられた吉武様へ絶大な信頼を寄せておられたのだと感じました。一方、吉武様は清水様にまかせっきりで、気が付いたら部会長の在任期間が12年にも及んで大変ご苦勞をおかけし申し訳なく、でも感謝の念で一杯だとおっしゃっていました。吉武様の清水様への全面的な信頼と、多くの会員からの厚い信頼に加えて、清水様の金属部会を大切に思う気持ちと誠実な性格によって 長い間金属部会長の任務を全うできたのだと思います。大きな業績を残された清水様への感謝の気持ちと、私が部会長の職を引き受けてよいものかどうか不安を覚えました。

2. 吉武様との会食（2019.7.20）

吉武様は親しい人と会食をすることを好みました。当時の部会長であった清水様のアレンジで私は副部会長の新井田さん、笹口さん、田中（和）さんと一緒に食事に誘われました。毎年新年会等で利用している大崎のホテルニューオータニインでのことで、食事内容も豪華で愉快的ひと時を過ごしました。



清水様と私は吉武様に何度か食事に招待されました。写真は吉武様の晩年に大船のイタリア料理店で撮ったものです。吉武様の馴染みのお店のようで、こじんまりしたとても素敵なレストランでした。

話も弾み楽しく過ごしたことを覚えています。その時は清水さんから、ご馳走になるのだから何かお土産をもっていこうと提案があり、近くのお店のお菓子を持参して行きました。清水様の優しい心遣いを感じました。

3. 奥様のご逝去（2024.1.8）

2年前のことです。清水さまから奥様がお亡くなりになったとのことのお知らせがありました。メールには、奥様は、生前お医者さんに余命6か月と知らされ気持ちの整理がついたので、布の袋に刺繍してお世話になった方に差し上げたことが書いてありました。皆さんにご迷惑を掛けないように葬儀も家族だけで行ったとのこと。また、奥様がお亡くなりになったことは誰にも知らせないで欲しいとのことでした。メールでしか推察できませんが、つらい思いをこらえて、他人への思いやりと 奥さんへの優しい気持ちを感しました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

金属部会特別顧問 清水 進先生 を偲んで

金属部会顧問 新井田 有慶

日本技術士会金属部会 特別顧問 元部会長 清水 進 先生のご逝去を悼み、心よりお悔やみを申し上げます。これまでのご厚情に深い感謝を述べるとともに、謹んで哀悼の意を表したいと存じます。

自分が、東京に転勤になったのが1992年（H4）7月で、本格的に金属部会に出席するようになったのが2010年（H22）頃からです。その時の部会長が清水先生で山崎宏様が理事をしておられました。その後、清水部会長からの命で、2011年7月から笹口様の後任として社会貢献委員会の委員とさせていただき、これが委員会活動のスタートになりました。また、2015年（H27）副部会長を拝命し、2017年（H29）に理事に推挙していただきました。理事選挙に当たって、書類一式を事務局に提出するさい、先生にわざわざ事務局までお越しいただき、チェックしていただきましたこと、つい先日のことのように思いだす次第であります。

当方が理事で企画委員会財務担当の副委員長をしていたとき、清水先生は神奈川県支部長をしておられまして、先生から当時の関東各県支部の緊急課題として、統括本部からの財政補助率のアップを求められました。当時の企画委員長や事務局等とも相談したのですが、対応はなかなか渋い感じでありました。確かに当時は千葉県支部などからも財政がひっ迫している旨の相談等もあり、当方の2年間の理事在任中にですが、最終的に事務局西村常務理事のご尽力などもあり、何とか個別に助成できる事業の助成率をあげる等の見直しを行うことができました。本当に微力ですが、清水支部長はじめ関東県支部の皆様にも、多少なりともお役に立つことができたのではないかと考えております。

さて、2011年（H23）6月に遡りますが、清水先生から「絵とき 貴金属利用基礎のきそ」という264頁の著書をいただきました。この本は清水様と村岸様の共著で「貴金属を工業的に利用する立場から、これらの材料を扱うときの機械的・化学的物性の基礎知識や、利用の留意点を素材物性と加工の両面からわかりやすく解説した入門書」とされ、自分もいただきました直後から一通り読ませていただきました。その後本棚に置いてあったのですが、このたび改めて読み直し始めたところです。このなかに医療用材料などの事例も記載され、現在の自分にとって、非常に身近で勉強になる本であることがわかった次第です。引き続き勉強をさせていただきたいと思っております。

最近、顧問会議等でお目にかかる折、1週間に数回程病院にかかっていると述べておられましたがお元気そうであり、また2026年1月の吉武記念講演会の折にも、機械振興会館におきまして元気にお話をさせていただきました。去る4月15日に突然ですが3月22日に永眠されたとの訃報をいただきまして、ただただ驚いた次第です。

ここに清水先生からのご恩情に感謝申し上げ、心よりご冥福を申し上げます。本当に長い間大変ありがとうございました。

清水 進 先生を偲んで (思い出写真)

金属部会顧問 中村 隆彌

2002.7.17.金属部会講演「モルフォ蝶に学ぶ構造発色繊維の開発 清水進」の“自然に学んだ繊維の技術(構造発色)”を聞き、空間構造物創造にも自然に学ぶことがまだあるのではと、当時の新立体トラスの営業活動に意欲がましました。

同日『PJ：溶接接合研究グループ』に入会し、見学会にも参加(写真 1、2)しました。清水先生主催の田中貴金属工業見学会に参加できなかったことが、今でも悔やんでおります。

技術士会広報委員でお世話になりました 安藤正博様 (元技術士会副会長・広報委員長)から会食に誘われ、清水先生に同行をお願いし快諾頂きました (写真 3、4)。

2008.04.16.金属部会新合各者歓迎会で「溶接・接合技術者として体験した失敗例と成功例について」(2007.11.27.SAMSUNG で講演) 清水先生の推薦で講演させていただきました (写真 5)。

2011.06.吉日「絵とき 貴金属利用基礎のきそ」(写真 6)をいただき大切にしております。

2017.06.21.金属部会で部会長を退任されました(写真 7)。

技術士全国大会で一緒できた写真を最後といたします(写真 8、9)。

天国でモルフォ蝶に囲まれながら、大好きな陶芸をされていることと思います。

心よりご冥福をお祈りいたします



写真 1



写真 2



写真 3



写真 4



写真 5



写真 6



写真 7



写真 8



写真 9

清水進さんを偲ぶ

金属部会顧問 山崎 宏

故清水進さん（以下、清水さんと記載）を偲んで清水さんに係る思い出を紹介いたします。

清水さんは、ご承知の通り、小林前部会長の前に12年にわたり金属部会長を務められました。金属部会での活動及び貢献は、皆様ご承知の通りであるため、ここではその他の話題を提供します。

1. 山梨県での活躍：

山梨県は、宝石の産地として知られています。山梨県工業技術センターは、県内の装身具業者の依頼を受けて、色々な研究と開発に尽力されています。

清水さんは、田中貴金属出身で貴金属に関する豊富な知識を持たれており、山梨県工業技術センターにおいて、その分野の指導や助言をされていました。

装身具の一つに、白金（プラチナ）製の指輪があります。プラチナ指輪は、極めて高価であり、この価格が普及の妨げとなっています。

そこで、山梨県工業技術センターと清水さんとが、タッグを組み、廉価版プラチナ風指輪の開発に着手されました。

2. 発明者：

開発に目途が立った頃に、特許を取得することとなり、山崎にその旨の相談が参りました。

山崎が属する特許事務所の弁理士と相談をし、12年前に「装身具用合金」を名称とする発明を出願し、10年前に特許権を取得することに成功しました。

第1～第4発明者は山梨県工業技術センターの研究者で、第5発明者が清水さんです。

3. 発明の概要：

身体に付ける装身具に供する装身具用合金(10)である。

装身具用合金(10)は、95質量%のパラジウムと、2-3質量%のニオブと、2-3質量%のガリウムとからなる。

装身具用合金(10)の用途は、指輪(12)である。

この発明により、白金を用いなくて、硬く、表面が輝く装身具が提供される。

パラジウムは白金に比べ格段に安価であるため、安価な白金風指輪が製造可能となる。

4. 特許性が認められた要因：

従来からパラジウムを白金の代替とする考えはあった。しかし、鑄造品に欠陥がでやすかった。2-3質量%のニオブと2-3質量%のガリウムを加えることで、鑄造欠陥を無くした点が評価された。

5. 山崎の所感：

清水さんには、数十年間に亘り金属部会でお世話になりました。加えて、上述のように面白い発明の具現化に参加させて頂き、深く感謝している次第です。



故 清水進氏への「思い出」

金属部会顧問 奥村 貞雄

1. 突然の訃報

2026 年 4 月 12 日、小林さん(顧問)、山崎さん(顧問)からのメールで、清水さん(特別顧問)の訃報を知りました。亡くなられた日付は、3 月 22 日と記されており、突然の訃報でした。

2. web 会合による親睦

実を言うと、3, 4 年前から、年 3 回(4 ヶ月毎)、故 清水さん、神戸さん、小林さん、山崎さん、そして小生(奥村)の 5 人は、web 会合を開き、親睦の一時を楽しんでいました。

(発起人：神戸さん、纏め：小林さん、会合名：有志 WEB 会議)

当初は、奈良での技術士全国大会の報告など、5 人の間で、情報の交歓がありました。早期に、神戸さんが離脱、4 人の状態が続きましたが、故 清水さんは、貴金属の話等、まじめに対応戴きました。1 年半ほど前に奥様を亡くされたご報告も、この会合でと記憶しています。それ以降、聊か、元気を亡くされたのも事実であり、この所、2 回ほど欠席が続いていました。

そして、最近の web 会合の開催日を確認し、驚きました。3 月 24 日だったのです。

清水さんが亡くなられた 2 日後の事であり、小林さん、山崎さん、小生、3 人で会合を持ち、知らぬ事とは言え、多いに盛り上がっていたことを、思い出し、あらためて陳謝し、哀悼の意を表したいと思います。

3. 故 吉武先生「7 回忌」に事寄せて

故 清水さんは、故 吉武さんの「秘蔵っ子」の一人であったことは、間違いありません。

「秘蔵っ子」の要件は、信頼度にあり「報告」「連絡」「相談」、所謂「ほうれん草」の完成度にあつたように思います。清水さんは、将に、この要件をそなえており、吉武さんの信頼を十分に得ておられたと拝察していました。

清水さんは、入会当時より、実年齢より、相当若く見られていました。これが災いし、吉武さんを含め、部会として、清水さんの理事推薦の時期を見誤り、理事就任は叶いませんでした。吉武さんの落胆ぶりが察せられ、寄り付きがたい時期があつたと記憶しています。

又、吉武さんにとって、清水さんのある時期からの医療行為「透析」は、不安の源でした。吉武さんからは、常に、清水さんの容態について、確認と相談があり、協力しました。

この 5 月 27 日(水) 吉武さん「7 回忌」のお墓参りに、上記 3 人衆、畠山さん(元常務)のご案内で、出向きます。当然、清水さんのご報告をし、ご冥福を祈る所存です。 以上



清水特別顧問の訃報に接して

金属部会顧問 笹口 裕昭

兎にも角にも、清水進様のご冥福をお祈りしたいと思います。

清水さんとの思い出は語り尽くせませんが、たしか 2009 年の年明けに東海大学湘南キャンパスにご一緒する機会があり、その時に副部会長の内示をいただきました。

その年 2009 年 4 月から、清水さんが 2017 年 6 月に部会長をご退任されるまで、実に 8 年間にわたって、副部会長として金属部会の運営のご指導のみならず、技術士会の部会を超えた重鎮の方々にもたくさんご紹介をいただきました。その結果として、技術士会内に広く顔を覚えていただいたのが、その後の各種委員会や理事としての活動における大きな原動力となりました。

清水さんは特に部会の若手の育成に強い思いを抱いてくださっており、2009 年の YES-Metals! の発足には大きな後押しをしていただきました。また、神奈川県支部のみならず、地域組織の充実や課題解決にも並々ならぬ問題意識をお持ちで、多くのご助言をいただきました。

清水さんの技術士や技術士会に対する熱い想いを、我々の世代からさらに若い技術士の方々へ繋いでいかなければならない、との思いを改めて心にかみしめています。



ご逝去の報に接し

公益社団法人 日本技術士会 理事 渡邊喜夫

清水特別顧問ご逝去の報に接し 心よりお悔やみ申し上げます

2007 年の第一次試験合格者ガイダンスに参加した時に、当時部会長だった清水様に部会へお誘いいただき、準員として参加させていただいたことが、最近のことのように思い出されます。正員になった後は、修習技術者支援委員会委員に推挙いただき、当方の技術士会活動がスタートしました。途中、業務の関係で委員会へ参加できなくなり、部会長にご迷惑をかけしたこともありますが、いつも誠実にご対応いただきました。

神奈川県支部においても修習小委員会へ参加させていただきました。修習小委員会のセミナーには毎回参加いただき、ご挨拶いただきました。毎回きちんと挨拶文を準備され、対応されていたことに当方には真似ができず頭が下がる思いでした。

清水特別顧問が、金属部会や神奈川県支部で築いてきた思いを、我々がさらに次へ繋げて行けるよう、少しでも伝えていきたいと思っております。

かけがえない思い出

金属部会副部会長 中山佳則

金属部会特別顧問・清水進様のご逝去に際し、追悼の意を表し思い出を述べたいと思います。

私と清水様の出会いは、確か私が特許事務所へ出向していた 2003 年～2004 年頃であったと思います。私の出向先に現山崎宏顧問がおり、43 歳と言う若輩者でしたが金属部会への参加が始まりました。当時の神戸部会長が確か清水様を皆さんに紹介されたと思います。私が元の会社に帰任した後の 2005 年 6 月から清水進部会長時代が始まりました。当時は、金属部会の始めに「技術講演」として、1 名の方が 60～80 分程の講演を行い、その後の夕食のお弁当をサービスされるという形式でした。そして、夕食後は理事会や委員会報告を行い、おおよそ 2～2.5 時間くらいの部会でした。

清水部会長としての一番の思い出は、金属部会後に書かれる議事録において、「技術講演」の概要を的確にそれも結構なボリュームで書かれていたことです。今のように AI 利用は無かった時代です。これには、いつも帰りの電車の中などで、故渡辺孫也元埼玉県支部長と感心して話をしていました。清水部会長時代は 2017 年 6 月までの 12 年間続きましたので、この間の清水様の技術講演概要集をまとめただけでも、一冊の素晴らしい本ができるほどだったと思います。技術文章を書くのに非常に優れた方だったと尊敬していました。それと、部会長時代、また部会長を退いた後も、日本技術士会の発展のためにいろいろ提案、助言をされていたとお聞きしていました。私達を技術士として導いていただいた偉大な先輩に感謝します。ありがとうございました（文章中の部会長年代は、金属部会創立 60 周年記念誌のご本人の挨拶文章や部会長履歴を参照して記述した）。

清水特別顧問からいただいた導きと学び

金属部会副部会長 小森 光徳

2012 年春、初めて参加した金属部会の会合で、声をかけていただいたのが当時の清水部会長でした。技術士に合格したのだから、関係する会合にはなるべく参加しようという意気込みが半分、様子見という気持ちが半分で参加した私に対し、清水部会長からレアメタルに関するご自身の著書をいただき、当時私が所属していた会社の役員をご存じということもあり、金属部会に参加しやすい下地を作ってくださいました。

また、CPD 講演の機会を与えていただいたことで、私の技術士としての活動に大きな影響を与えていただきました。当時、技術者としての立ち位置に悩んでいる時期であり定年までの期間、どのように技術者としての役割発揮をするのかを模索していました。CPD 講演を行うにあたり、「埋設パイプラインの電気防食」という講演題目を決め、準備、当日の発表を経ることで、自らの技術者としての軸が設備の維持管理であることを再認識することができました。このように、清水特別顧問は長きにわたる活動の中で、多くの方への助言をなさっていると思います。ご冥福をお祈りいたします。

故清水特別顧問の思い出・感謝

金属部会副部会長 松下 滋

清水特別顧問と初めてお会いしたのは、2013 年 1 月の YES-Metals！新年会でした。自分は技術士一次試験合格発表前に、YES-Metals！の門を叩きました。部会長として、温かく接していただき、著書をいただいたのが昨日のことのようです。

その後、技術士合格、2015 年～2018 年の YES-Metals！の運営では、多様なアドバイス・支援をいただき、本当に感謝に堪えません。その後の委員会委員・執行役でも、有用なご意見をいただき、活用させていただきました。

2022 年 9 月 10 日に、CPD 中央講座『技術士の情報発信活動』で一緒にさせていただいたのは、貴重な思い出です。(下記写真)

最後にお会いしたのは、2026 年 1 月 25 日の吉武記念講演会でした。

懇親会の席で、いろいろお話をいただき、『積極的に、どんどん、やりなさい。応援している！』と優しく、背中を押していただき、大変、力強かったです。

人間、誰しも旅立つときは来ます。満足して笑って、旅立ちたいものです。

清水特別顧問の想いをしっかり受け止め、技術士・金属部会員として、社会と後進にしっかり恩送りし、満足して笑って、旅立てるよう精進していきます。ご指導、有難うございました。



チャーミングな笑顔を偲んで

金属部会副部会長 藤間 美子

ご逝去の報に接し、深い悲しみに包まれております。昨年十一月の技術セミナーではプラチナの歴史をご講演いただきました。最終頁の京都の風景がどこかについて、今年一月の吉武記念講演大会＆新宴会の折にお話したところ、「当ててみて」とおっしゃるなど、チャーミングな一面もお持ちの方でした。次にお目にかかる際に当てる約束をしておりましたが、叶わぬこととなりました。

多大なご功績に心より敬意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

清水進さんの思い出

石田 正雄

私が技術士となり金属部会に入会した 2015 年、清水さんが部会長でした。「金属部会をよろしく願いたします。」と、控えめでとても腰の低い方との印象でした。

そして、自分が埼玉県支部長を拝命した 2023 年には神奈川県支部長は松田さんに替わられていたので、残念ながら支部長として、直接お付き合いすることはできませんでしたが、神奈川県支部長として、統括本部とやり合ったお話を後でお聞きし、志の明確な情熱家であるとの印象も加わりました。

清水さんの発信で最も印象深いのは、2022 年の吉武記念講演で講演された「～温故知新～黎明期の技術士会 日本技術士会を創設した大先輩の思い」です。ここで自分は初めて技術士会が「吉田茂が日本復興のために作らせた制度」であることを知り、埼玉県支部のリーフレットの表紙に「技術の力で地域の発展に貢献」と書いてある意味が理解できました。そして埼玉県支部は 10 年がかりで「中小企業のイノベーションを手助けできる埼玉県支部」になるとことを目標に掲げて活動しています。

また、今年 1 月 25 日の吉武記念講演時、会場で清水さんに「技術士会の本来の存在意義を再認識するために、清水さんの講演資料を技術士会内外に発信させていただきたい」旨を打診したところ「いいことだから是非活用してください」と快諾いただきました。これは大変ありがたい話で、既に様々な場で活用させていただいています。清水さん、ありがとうございました！

清水特別顧問のご指導に感謝して

長屋 五郎

清水特別顧問が、以前部会長のとき、まだ、入会したばかりなのに金属部会定例会の発表の機会を与えていただき、また丁寧に教えていただきありがとうございました。ご冥福をお祈りいたします。

清水 先生へ

平野 富夫

御逝去の報を伺いました。先生とお付き合いは、部会を通じてのことが多かったです。いつも穏やかに、しかしながら主張することはしっかり行う姿は、我儘な私には理想のお姿でした。いつしか、清水先生の事を勝手に自分の目標にしていました。私には部会長のイメージが強く、貴金属が専門と言う近い分野の事も有り、参考になるお話を一杯伺うことが出来ました。

本当に残念ですが、安らかにあちらの世界でも楽しんで下さい。本当にありがとうございました。

十八年のご指導を偲んで

上野 英生

悲しいお知らせをいただきました。謹んで、清水先生のご冥福をお祈り申し上げます。

思えば、十八年前の技術士補合格祝賀会以来、先生から御指導とお励ましを戴くばかりでした。もはや、先生に恩返しするには、少しでも、金属部会に貢献するしか無いと思っている次第です。

合掌

ご指導と励ましへの感謝を込めて

細谷 佳弘

私は 2006 年春に都内への引越と同時に日本技術士会に入会致しました
程なく金属部会の行事に顔を出すようになり清水部会長とは会の度に気軽にお話しさせて頂きました
その中で何度か頼まれて拙いお話しをした事を思い出します
これからは金属部会開会時の「金属賛歌」の背景映像でしかお目にかかれなないかと思うと残念です
心よりご冥福をお祈り致します

清水先生へのお別れの挨拶

桐野 文良

清水先生の悲報に接し、寂しい限りです。心よりご冥福をお祈りいたします。

さて、清水先生の部会長時代に金属部会の推薦をいただき技術士会の会長表彰を私がいただくことができました。授賞式の前後で、清水先生から多くの方々を紹介いただきました。その時の方々とはその後も交流いただき、今では私の貴重な財産となっております。

技術士の在り方をお教えいただき、今日まで技術士として活動できたのも清水先生のおかげです。先生の温かいお心に感謝申し上げるとともに、その心を今後の活動に生かしていくことを誓いまして、寂しいですがお別れの挨拶といたします。ありがとうございました。

清水特別顧問のご逝去を悼んで

矢澤 好弘

清水特別顧問のご逝去を悼み、謹んで哀悼の意を表します。

長年にわたり金属部会の発展にご尽力され的確かつ温かいご指導を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。ここに生前のご功績に深く感謝するとともに、安らかなるご冥福をお祈りいたします。

清水様への感謝と哀悼

岡村 康弘

清水様 有り難うございました。

金属部会長、神奈川県支部長として、献身的に努めておられるのを目の当たりにして、敬意を表しておりました。コロナ禍以降、リアル会合も減り、直接お目にかかることもなくなり、突然の訃報に驚いた次第です。

講演の機会を頂いたり、会からの表彰に際してご高配を頂いたり、改めて御礼申し上げるとともに、衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。



清水進特別顧問のご逝去を悼んで

田中 秀明

清水進特別顧問のご逝去を悼み、謹んでお悔やみ申し上げます。

私が試験に合格した 2011 年、技術士登録したのが 3 月 11 日、入会は同 4 月 1 日付。関東はまだ震災発生直後ということもあって関西限定で少しずつ活動を始めつつあった中、「最初くらいは」のつもりで東京での合格者祝賀会に出てみたのが私の金属部会でのデビューでした。

ただその後は、部会行事がほぼ東京限定での開催で、Web 会議システムも当時未整備であったため、活動は関西にとどまっていました。それでも、東京出張の際などに例会に参加したことが何度ありました（当時の例会は水曜夜の開催）。当然ながら顔見知りはいない、浮いている状況でしたが、そのような私に温かく声を掛けて繋ぎ留めてくださり、更にいつ東京に行けるかも知れない私に講演の機会（便宜）まで与えてくださったのが、当時の清水部会長などでした。

その後の私と部会の関わりは言うに及びませんが、全ては清水様の存在があったからこそと思っています。ありがとうございました。安らかに眠りください。



忘れえぬご薫陶

阿部 真丈

いつも優しい語り口で、私が 20 代の駆出しの頃より親身にご指導いただきました。技術指導だけでなく、その礎となる多くのご薫陶は忘れられません。電子顕微鏡の分析だけで論文を書いた私に「象の鼻先だけ見て、その巨体が何かを語るようなものですよ。」。工場視察の際には「古い機械だから品質が悪いという事はないですよ。」「どんな立場でも守衛さんにきちんと挨拶できるような人でないといけませんよ。」というお言葉も毎朝思い出されます。誠にありがとうございました。心よりご冥福をお祈りいたします。

ご厚情とご指導を偲んで

野村 晃平

名誉顧問清水様に、特に私がお世話になった当時（約 15～5 年程前）の 役職・会話の際の敬称にて、追悼申し上げます。

清水部会長、本当にありがとうございました。

約 16 年前、私が技術士 1 次試験に合格するまで 1 年以上、独学で技術士を目指しておりました。約 15 年前の 1 次試験合格者歓迎会で、はじめて清水部会長にご挨拶しました。清水部会長を前に緊張する私に、親身で柔和な励ましのお言葉をいただいた後の安心感・心強さを、昨日のことに覚えております。

修習技術者時代、清水部会長より金属部会での講演の機会を頂きました。講演テーマ選定で悩む私からの相談に、清水部会長は快く応じていただき、的確かつ親身にご指導・アドバイス頂きました。お陰様で、当時私が携わっていた「Ni 基耐食合金についての技術」をテーマに決め、金属部門技術士の先生方に向けた講演(という形の、自身の修業の場)を形に出来ました。修習技術者時代の私にとっての、貴重な経験・思い出です。

また、清水さんと初めてお会いした日から今まで、金属部会の方々、YES-Metals!の方々、部門を超えた日本技術士会・修習技術者の方々等、多くの方々と出会っています。この出会いの中での気づき・経験は、私にとって、自身の視野・世界観を大きく広げ続けている貴重な機会です。このような機会・場を実現するための地ならしにも、清水さんは金属部会長として取り組まれてきたことと拝察いたします。

清水さんに最後にお会いしてからの 5～6 年間、私は「技術的に何とかする」の精神で、自身の業務に全力で打ち込む日々が続いております。「技術的に何とかする」は、清水さんより頂いた機会・気づき・経験・視野等を心に、15 年間過ごしてきた中で至っている、今の私の信条です。

清水さんから頂いたものを、自身のものとして更に磨き続け、より社会のお役に立てるよう、これからも精進して参ります。

清水さん、おつかれさまでございました。どうか安らかにお眠りください。

御礼

勝見 百合

温故知新のご講演にて、金属部会の今までの歴史を教えていただき、今の活気ある金属部会があるのは清水特別顧問のご尽力のおかげと知りました。いろいろお話を聞く機会があったことは、自分にとっての財産です。金属部会の礎を築いていただき、本当にありがとうございました。短い期間ではありましたが、ご教授いただけて幸せでした。ご冥福をお祈りいたします。

清水先生との出会いと感銘

石塚 慶一

清水先生の突然の悲報に接し、とても信じられず残念な思いでいっぱいです。

先生にお会いしたのは 田中電子工業に転職した 2000 年ですが、入社時に金ワイヤ製造プロセスを穏やかにかつ丁寧に教えていただいたことを思い出します。数年後私は転職しましたが、その後私が 技術士に合格し、歓迎会の際は、再び先生とお会いし、再会と合格にとっても喜んでいただき、神奈川支部に来ることを勧めていただきました。

先生が職場や金属部会で仕事に真摯に向き合う姿勢には常々感銘を受けていまして、この先もきつと思ひ出すことでしょう。

先生、どうぞ安らかに眠りください。心より感謝申し上げます。



品格と知見を偲んで

池田 大亮

故・清水進特別顧問のご逝去の報に接し、謹んで哀悼の意を表します。

清水特別顧問には、日本技術士会金属部会の活動を通じて、長年にわたり大変お世話になりました。特に金属部会長を務められていた頃の定例部会では、常に落ち着きと品格をもって、そつなく整然と会を進行されていたお姿が、今も強く印象に残っております。参加者や講演者への細やかな配慮に満ちた運営には、豊かな経験と温かなお人柄が表れておりました。

また、当時の定例部会では専門性の高い金属工学分野の講演が多い中、清水特別顧問による「貴金属とその利用」のご講演は、私にとって特に印象深いものでした。モルフォ蝶の発色機構の研究成果を応用し、大手化学繊維メーカーで「モルフォテックス」が製品化されたというお話に接し、「金属分野にはこのような広がりもあるのか」と大きな驚きと新鮮な感銘を受けたことを覚えております。清水特別顧問の幅広い知見と柔軟な視点に深い敬意を抱きました。

さらに個人的には、日本金属学会会報誌「まてりあ」における「金属素描」の金と銀に関する執筆依頼を受けた際、銀については自身の経験から対応可能でしたが、金については知識や経験が乏しく対応に苦慮しておりました。その際、田中貴金属ご出身であった清水特別顧問にご相談したところ、快く執筆をお引き受け下さいました。そのご厚意に大変助けられたことを今でも深く感謝しております。

清水特別顧問は、優れた技術者としてのみならず、後進に対しても温かく接して下さる人格者でありました。ご生前のご功績とご厚情に 深く感謝申し上げるとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

弔意

浮穴 俊康

ご冥福をお祈り申し上げます。

感謝の思い

小塚 隆

一次試験に合格して初めて金属部会に参加した 2012 年 3 月、部会終了後に清水特別顧問より金属部会で講演を行わないかとお声かけを頂いたこと、今でもはっきりと覚えています。

自分が講演していいのかと戸惑っていたところ、これから技術士になるのだから自分の得意な話をしたらどうかと助言を頂き、緊張しながら金属部会で初めて講演を行ったことを思い出します。この時にお声かけを頂いたことが今の自分につながっていると強く感じています。
心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

技術の礎に感謝を込めて 鳥形 啓輔

このたびの訃報に接し、謹んでお悔やみ申し上げます。直接のご縁はございませんでしたが、金属分野および部会の発展に長年ご尽力されたことに、深い敬意を抱いております。

技術者としての社会的役割や専門性の価値についても、先人の歩みの上に 今があることを改めて認識しております。これまでのご貢献に心より感謝申し上げるとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。

敬意と感謝

安齋 英哉

リアル参加が少ないこともあり、清水特別顧問との特段の思い出を書けないのが残念です。最後まで部会に参加されご指導・ご助言されたことに、技術士及び技術士会への深い想いを感じ、敬意と感謝を表します。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

謝意

櫻井 理孝

プラチナの歴史のご講演、ありがとうございました。
ました。

温かな歓迎とご指導に感謝 濱田賢祐

一次試験合格し始めて金属部会に参加した時に暖かく声掛けいただき、迎え入れていただいたことが記憶にあります。その後の不安ながらの発表でも、親身に対応をいただき今に至っています。

また部会活動に限らず、近しい分野であったことから技術的なご説明もいただいたこと大変感謝しております。

情熱と教えの継承

加藤 友則

長年にわたるご尽力 ありがとうございました。情熱と教えを継承し、更なる発展に努めることが 恩返し・恩送りと存じます。

私たちの活動を支えてくださったことに深く感謝申し上げます。

一丸で承前啓後

中村 将士

新合格者、地域活性幹事として時々上京した際に、新参の私にも優しく声をかけてくださったのを覚えています。

先輩方の遺産を我々みんなが受け継いでまいります。

感謝と御礼

栗原 朋之

直接ご挨拶、ご助言いただくことができなかったのが悔やまれます。YES-Metals! 立上時に部会長のお立場でご支援いただいたことを知りました。

今活動できるのは清水特別顧問のおかげであり、深く感謝申し上げます。これまでの活動に関する敬意とともに心よりご冥福お祈り申し上げます。

清水特別顧問の職歴

1956.3	田中貴金属工業(株)入社
1964.4 ～1970.4	東京大学宇宙航空研究所受託研究員
1970.4 ～	田中貴金属工業(株) 本店工場長・伊勢原工場長・ 工法開発部長・神戸工場長・開発企画部副部長
1997.4 ～ 2002.3	(兼務) 触媒資源化協会会長
2002.4	田中貴金属工業(株)定年退職
2001.3	日本技術士会 入会・清水技術士事務所開設
2005.7～2016.7	金属部門部会長
2011.9～2015.7	同上・神奈川県副支部長
2015.7～2017.7	同上・神奈川県支部長
2019.7～2021.7	神奈川県支部長・技術士会名誉会員
2017.7～	金属部会特別顧問
2021.7～2025.7	神奈川県支部特別顧問

主な著作

『絵とき「貴金属利用技術」基礎のきそ』（2016 年）

著者：清水進・村岸幸宏 / 出版社：日刊工業新聞社

最後のご講演

プラチナの歴史
(その1)
～プラチナが金属と認められるまで～

2025.11.9.
日本技術士会金属部会講演
「歴史金属学3」

公益社団法人 日本技術士会 名誉会員
金属部会：特別顧問
清水技術士事務所 所長
清水 進 (金属部門)

1

金属讃歌（金属部会歌）

金属は万物の
源（みなもと）にして
世に充つる文明を
担いて幾星霜
匠の技を極め
明るい未来照らす
我ら日本技術士会
金属部会
我ら日本技術士会
金属部会

YES-Metals！の歌

ものづくりの学び舎に
集いし、我ら金属マン
匠の技を鍛えよ永遠に
夢と、希望と、情熱を
ともに分かちて未来を開く
そうだ！金属！YES-Metals！

幾多の先人、築きたる
至宝を伝える技術士会
金属部会で、励めよ、尽くせ
技術と倫理と人の輪で
自分を磨きて、世に役立てる
そうだ！金属！YES-Metals！
そうだ！金属！YES-Metals！

公益社団法人 日本技術士会 金属部会
故清水特別顧問追悼文集

発行日：2026 年 6 月 28 日

編集・発行：金属部会 資料編集委員会

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館

TEL：(03) 3459-1331 FAX：(03) 3459-1338

URL：日本技術士会 <https://www.engineer.or.jp/>

金属部会 https://www.engineer.or.jp/c_dpt/metal/

【※本誌記事の無断転載（コピーを含む）を禁じます】